

## ロシア

### 2006年の対外貿易<sup>1</sup>

総輸出額は3,015億ドル（前年比24.8%増）、総輸入額は1,378億ドル（同42.5%増）となった。輸出では、鉱物資源が圧倒的割合（65.9%）を占め、そのうち石油が33.9%、天然ガスが14.5%を占めている。輸入においては、機械・設備・輸送手段が47.6%を占めた。

貿易総額に占める割合を国別に見ると、輸出は第1位オランダ（11.9%）、第2位イタリア（8.3%）、第3位ドイツ（8.1%）、第4位中国（5.2%）、第5位ウクライナ（5.0%）、輸入は第1位ドイツ（13.4%）、第2位中国（9.4%）、第3位ウクライナ（6.7%）、第4位日本（5.7%）、第5位ベラルーシ（5.0%）となった。

日ロ貿易に関しては、総額約137.3億ドル（前年比28.4%増）と史上最高値を記録し、日本からロシアへの輸出が70.7億ドル（同57.5%増）、日本のロシアからの輸入が66.6億ドル（同7.3%増）となり、従来とは逆に、日本側の出超に転じた。対ロ輸出品目の約76%は自動車類が占めており、前年比58.3%増となった。

### 太平洋パイプライン計画の現況（送油量はどの程度確保されるのか<sup>2</sup>）

2007年6月中旬、前年4月に建設が開始した東シベリア～太平洋パイプライン（以下、「ESPOパイプライン」と略）第1段階（イルクーツク州タイシェット～アムール州スコヴォロディノ間：全長約2,800km弱）の建設状況に関し、ヴァインシュトク・トランスネフチ（国営パイプライン独占企業）社長は、約950kmが建設済みであり、当初の予定通り2008年末までに建設が完了する旨、プーチン大統領に報告した。どうやらパイプラインの建設自体は、順調に進んでいるようだ。

ところが最近、パイプラインへの安定的送油を実現するだけの原油生産量や埋蔵量確認をめぐる進捗状況が遅れていることに関し、ロシア国内でも懸念する声が相次いで上がっている。第1段階ではその終着点であるスコヴォロディノまで3,000万トン、第2段階に関しては太平洋岸まで8,000万トンの送油が計画されている。しかし後者に関し、着工時期の具体的な見通しは立っていない。2007年3月、フラトコフ首相はサハ共和国を訪れた際、ESPOパイプラインへの供給が予定されている鉱床に関し、これまで

関連石油会社が地質探査義務の僅か5%しか果たしてこなかった点を指摘し、同プロジェクトの経済性が脅かされかねない旨強い懸念を示した。

今年6月末、モスクワ国際石油ガス会議（Moscow International Oil and Gas Exhibition）の席上、ガリチャニン下院（ドゥーマ）エネルギー輸送通信委員長は、東シベリアだけではなく、西シベリアおよびサハリンを含めた、アジア太平洋地域への原油輸送量が2010年段階で4,400万トン、2015年段階で7,000万トン（内訳：西シベリア3,000万トン、東シベリア2,000万トン、サハリン2,000万トン）になるとの見通しを明らかにした。ESPOパイプラインとの関連で見ると、2015年時点で5,000万トンが確保されたとしても、過半の3,000万トンは西シベリアからの送油に頼らざるを得ないことになる。つまり、生産量が頭打ちになりつつある西シベリアから東方に向けられる原油には限界があることを鑑みれば、第2段階の目標とされる8,000万トンの確保は更に遠い将来の課題となる。

他方、2006年10月、国営石油企業ロスネフチは、沿海地方のコジミノ小湾に石油精製プラントを建設する計画を発表した。それは飽くまでも、十分な量の原油が経済的コストに見合う形で同地域まで運ばれて初めて現実味を帯びる話であり、現時点では不確定要素が多い。仮にESPOパイプライン第1段階の竣工以降、予定通りスコヴォロディノまで3,000万トン以上の送油が可能になるとしよう。そこから従来ロシア政府が主張してきたように、中国向け支線パイプラインと、太平洋岸に向けた鉄道輸送（第2段階パイプライン完成までの間）の2ルートに原油が振り分けられる場合、どの程度の割合が太平洋岸に向かうのか現時点で皆目見当が付いていない。中国向け支線ルートの建設を主張するトランスネフチと、中国向け鉄道輸送の増強を主張する国営企業ロシア鉄道の意見対立も激しさを増している。

他方、現在、国営企業ガスプロムが中心となり、東シベリアから太平洋岸に向けてESPOパイプラインにおよそ並行させる形で天然ガスパイプラインを建設する計画が策定中であり、プーチン大統領も同案に支持を表明している。同社はロシア政府に対し、「中国市場及びその他アジア太平洋諸国への輸出を視野に入れた東シベリア・極東地域のガス採掘・輸送・供給の統合システム構築プログラム」案を燃料エネルギー部門及び地下資源生産に関する政府委員会に提出した。同案は今後、ロシア政府および大統領の正

<sup>1</sup> 『ロシア銀行年次報告書（2006年）』（ロシア語版）pp228～230。日ロ貿易については、財務省関税局資料に基づく。

<sup>2</sup> これまでの経緯については、拙稿「岐路に立つ太平洋パイプライン構想第一部・第二部」、ERINA Report, Vol.72&73を参照されたい。

式承認を待つ状態にあるが、現在、策定中と報じられる  
 「2030年までのロシア・エネルギー戦略」(2003年8月公表  
 「2020年までの同戦略」の改訂版)の行方を含め、ESPO

パイプライン構想の将来は混迷度を増していると言えよ  
 う。

(ERINA調査研究部研究主任 伊藤庄一)

	輸出全体に占める割合								前年比成長率							
	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006		
合計	100	100	100	100	100	100	100	141	97	107	126	135	133	125		
鉱物	53.6	54.7	55.2	57.6	57.8	64.8	65.9	170	98	108	132	136	149	127		
(内訳)燃料・エネルギー	53.1	54.1	54.6	57.0	57.2	64.0	65.3	171	99	108	132	135	149	127		
石油	24.5	25.0	27.3	29.5	32.5	34.6	33.9	179	99	116	136	149	141	123		
天然ガス	16.1	17.8	14.9	14.9	12.0	13.0	14.5	147	107	89	126	109	144	140		
金属・金属製品	16.9	14.7	14.1	13.8	16.7	14.0	13.9	119	84	103	123	164	111	124		
機械・設備・輸送手段	8.8	10.4	9.4	8.9	7.7	5.6	5.8	115	115	96	119	117	96	130		
化学製品・天然ゴム	7.2	7.5	6.9	6.8	6.6	5.9	5.5	120	101	99	124	131	120	116		
木材・パルプ・紙製品	4.3	4.4	4.6	4.2	3.9	3.4	3.2	120	99	111	114	126	118	115		
貴金属・宝石	4.8	4.1	4.5	3.9	3.5	2.8	2.5	113	83	116	109	122	107	112		
食品・農産原料(繊維以外)	1.6	1.9	2.6	2.5	1.8	1.9	1.8	164	117	148	122	96	137	122		
繊維製品・靴	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6	0.4	0.3	101	98	111	107	118	86	98		
皮革原料・毛皮品	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	130	85	117	124	107	93	111		
その他	1.5	1.3	1.6	1.4	1.2	1.1	1.0	116	87	129	117	113	117	114		
輸出総額(10億ドル)	103.1	100	106.7	134.5	181.7	241.5	301.5									

	輸入全体に占める割合								前年比成長率							
	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006		
合計	100	100	100	100	100	100	100	112	124	110	124	132	131	140		
機械・設備・輸送手段	31.4	34.0	36.3	37.4	41.1	44.0	47.6	106	134	118	128	145	140	151		
化学製品・天然ゴム	17.9	18.2	16.7	16.8	15.8	16.5	15.8	125	126	101	124	124	136	134		
食品・農産原料(繊維以外)	21.8	22.0	22.5	21.0	18.3	17.7	15.7	91	125	113	116	115	126	124		
金属・金属品	8.1	7.2	6.3	7.2	7.7	7.5	7.4	126	110	97	141	141	127	139		
繊維製品・靴	5.9	5.5	5.3	4.8	4.3	3.7	4.0	126	115	106	114	118	111	151		
木材・パルプ・紙品	3.8	4.0	4.2	4.2	3.8	3.3	2.9	120	130	114	125	119	114	120		
鉱物	6.3	4.1	3.7	3.8	4.0	3.1	2.4	177	80	101	125	142	99	109		
(内訳)燃料・エネルギー	4.3	2.5	2.2	2.3	2.2	1.6	1.3	188	71	100	129	126	97	115		
皮革原料・毛皮製品	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	146	175	94	110	109	112	156		
貴金属・宝石	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.2	161	35	143	173	252	150	119		
その他	4.2	4.4	4.5	4.3	4.5	3.6	3.7	118	134	111	122	130	114	136		
輸入総額(10億ドル)	33.9	41.9	46.2	57.3	75.6	96.7	137.8									

(出所)『ロシア銀行年次報告書(2006年)』(ロシア語版) p228。